

特集

新人が聞きにくいこと 先輩が言いにくいこと

5月、入職から1か月を経た新人看護師にとっては、気を引き締めるべき時期といえるでしょう。入職してすぐの頃は、新人は何でも質問し、プリセプターも1つひとつに答えていたところが、この時期を境に「一度は習ったんだから」と新人一人で仕事を進めていく場面が増えてきます。人員不足のなか、早期の一人立ちのためには避けて通れないプロセスとはいえ、もっともヒヤリ・ハットや事故が心配される場面といえるでしょう。

本特集では、「新人が聞きにくいこと」「先輩が言いにくいこと」という2つの面から、新人と先輩の間のコミュニケーションの問題を探ります。新人が聞きにくいこと、言われたくないこと、あるいは先輩が言いにくいこと。効果的な院内教育のためのコミュニケーションの手がかりを提供します。

■先輩に聞きにくいこと

■患者さんに言いにくいこと

■先輩から言われたくないこと

■先輩が言いにくいこと

監修:吉田みつ子

懸賞論文

「クレマーを“つくらない”患者対応の極意」 受賞作掲載

招待席

境界を行き来するということ キュアとケア、生と死 田口ランディ

編・集・後・記

●日本に専門看護師(CNS)が誕生してもう10年以上が過ぎていたというのを、昨年の看護管理学会でのセッションを聞いて知り、改めて時の流れの早さに驚きました。しかし、読者のなかには、著作物などで知ってはいても、一緒に働いた経験のある人の方が少ないのではないかと思います。せっかくのすばらしい資格を、現場のナースに身近に感じてもらわなければ、今後の施設への導入も難しいでしょう。そこで、今回の特集なのです。「恵まれた施設の話」ととらえず、あなたが、そして患者さんが“楽”になるためにも、その働きを知り、同僚として迎えられるよう考えてみてください。

で、今回と同じようなスタンスで、誕生から20年が過ぎた介護福祉士との協働についても、6号で取り上げます。そちらもお楽しみに。【大野】

●今月号から3本の連載が新たにスタートしました。堀川由夫氏の「医療機器とともに学ぶカラダのしくみ」では、知っているようで知らない医療機器と身体の仕組みを解説します。生身の身体の働きがどのようにして数値化され、またどのようにコントロールされるのか。イラストとともに楽しく学べます。東めぐみ氏の「かかわるチカラ」では、慢性疾患専門看護師が自らの経験を中心に、糖尿病看護実践を振り返ります。糖尿病にかかわる看護師さん必読、臨床看護の「知恵」満載の連載です。一方、京極真氏「医療の零度」では一度現場から距離を置いて、医療・看護を根本から問い直すことによって、考え方の違う人間同士が、現場でいかに協働していくかをあらためて考えさせてくれる精緻な理論を紹介します。どの連載もパワフルに、明日のケアの世界を切り開く内容です。ご期待ください。それから、懸賞論文受賞作掲載を楽しみにしていた皆さん、ごめんなさい。予想以上の応募により本号では発表のみ。大賞〜佳作まで一気に掲載の次号をお楽しみに!【鳥居】

看護学雑誌 第72巻第4号 2008年4月1日発行(毎月1回発行)

発行/株式会社医学書院 代表者 金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2008, Printed in Japan

1部定価 1,260円(本体 1,200円+税5%) 年々ぎめ予約購読料 13,200円(税込、送料弊社負担)

・定期購読のお申し込み先/(株)医学書院販売部 TEL 03-3817-5659

・第69巻以前のバックナンバーのご注文先/(株)東亜ブック TEL 03-3985-4701

『看護学雑誌』編集室(担当/鳥居・大野) TEL 03-3817-5772

E-mail kangaku@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(TEL 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0386-9830/08/¥250/論文/JCLS」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。